



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社
 コード番号 3104 URL <http://www.fujibo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・投資家向け

(氏名) 中野 光雄
 (氏名) 吉田 和司

上場取引所 東
 TEL 03-3665-7612

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	19,091	△5.1	1,456	△52.5	1,501	△48.8	811	△53.7
25年3月期第2四半期	20,117	5.3	3,068	33.3	2,933	36.1	1,753	60.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 960百万円 (△42.9%) 25年3月期第2四半期 1,682百万円 (56.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	6.95	—
25年3月期第2四半期	17.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第2四半期	43,870		21,381		48.6	
25年3月期	44,526		21,005		47.0	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 21,299百万円 25年3月期 20,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	0.0	4,050	△31.0	4,050	△28.4	2,100	△33.2	18.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付書類4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	117,200,000 株	25年3月期	117,200,000 株
26年3月期2Q	535,887 株	25年3月期	533,295 株
26年3月期2Q	116,665,701 株	25年3月期2Q	102,071,275 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策に対する期待感から、円安・株価上昇が進み、輸出関連企業を中心に収益が改善し、景気情勢は回復への兆しが見られました。しかしながら、当フジボウグループの事業環境は、円安による輸入原材料価格や電力代の上昇、欧州の財政問題や新興国経済の減速などの懸念材料、一部高額商品の販売は堅調なもの依然として続く消費者の節約志向・低価格志向などにより、先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、中期経営計画『突破11-13』において重点事業と位置づけている繊維事業、研磨材事業、化学工業品事業の3事業を中心に営業力、開発力の強化を進め、収益力の改善に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は19,091百万円(前年同期比1,026百万円、5.1%の減収)で、営業利益は1,456百万円(前年同期比1,611百万円、52.5%の減益)、経常利益は1,501百万円(前年同期比1,431百万円、48.8%の減益)となりました。また四半期純利益は、811百万円(前年同期比942百万円、53.7%の減益)となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

①繊維事業

肌着などの繊維製品では、アングル株式会社のグループ化により売上高は増加しましたが、プライベートブランド商品との競争激化のなか、円安による輸入原材料の価格上昇により利益面では苦戦を強いられました。紡績、テキスタイル、合繊も需要の低迷など厳しい環境で推移しました。

この結果、売上高は前年同期比404百万円(5.4%)増収の7,902百万円となりましたが、営業利益は106百万円(96.1%)減益の4百万円となりました。

②研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、ハードディスク用途、半導体デバイス用途(CMP)が順調に推移し、パワー半導体向けなど新規用途が拡大したものの、液晶ガラス用途および前期大きく伸長した一般工業用途が減少しました。

この結果、売上高は前年同期比1,698百万円(25.0%)減収の5,087百万円となり、営業利益は1,449百万円(53.8%)減益の1,243百万円となりました。

③化学工業品事業

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、農薬・機能品を中心に柳井工場でフル生産を続けることができました。また、今期取得した武生工場は増収に寄与しましたが、全社での生産最適化に向けた設備投資を優先して実施しており、利益貢献にまでは至りませんでした。

この結果、売上高は前年同期比636百万円(18.9%)増収の4,008百万円となりましたが、営業利益は36百万円(16.3%)減益の188百万円となりました。

④その他

精製部門は、円安による輸入競合品の価格上昇から国内での溶剤再生が好調に推移し、前年同期比で増収・増益となりました。自動車関連ではアジアから中南米への車両輸出が減少しました。化成品は、医療機器用部品が順調に拡大したものの自動車用部品は回復に至りませんでした。

この結果、売上高は前年同期比369百万円(15.0%)減収の2,092百万円となり、営業利益は19百万円(49.4%)減益の19百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて1,398百万円減少の18,610百万円となりました。これは、商品及び製品などのたな卸資産は増加しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことなどによります。固定資産は前連結会計年度末に比べて743百万円増加の25,260百万円となりました。これは、化学工業品事業において吸収分割により設備の取得をしたことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて655百万円減少の43,870百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて1,129百万円減少の13,968百万円となりました。これは、仕入債務などが増加しましたが、未払法人税等、設備関係支払手形が減少したことなどによります。固定負債は前連結会計年度に比べて97百万円増加の8,521百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1,031百万円減少の22,489百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて376百万円増加し、21,381百万円となりました。これは、四半期純利益の計上による増加が811百万円ありましたが、剰余金の配当の実施による減少が583百万円あったことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて505百万円減少の2,569百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、1,929百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益1,369百万円、減価償却費807百万円、売上債権の減少1,947百万円等の収入がありましたが、たな卸資産の増加1,171百万円、法人税等の支払1,492百万円等の支出があったことによります。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、2,153百万円となりました。これは、主として固定資産取得に充てたものであります。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、306百万円となりました。これは、主として配当金の支払に充てたものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

主力の研磨材事業の業績の回復がやや遅れていることから、平成25年7月31日に公表した通期の業績予想の数値を修正しております。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,076	2,571
受取手形及び売掛金	10,767	8,831
商品及び製品	2,961	3,347
仕掛品	1,278	2,027
原材料及び貯蔵品	980	1,061
その他	957	785
貸倒引当金	△13	△15
流動資産合計	20,009	18,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,165	4,523
土地	13,832	13,763
その他(純額)	4,510	4,810
有形固定資産合計	22,507	23,097
無形固定資産	162	266
投資その他の資産		
その他	1,851	1,903
貸倒引当金	△3	△6
投資その他の資産合計	1,847	1,896
固定資産合計	24,517	25,260
資産合計	44,526	43,870

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,844	5,460
短期借入金	4,775	5,064
未払法人税等	1,382	414
賞与引当金	607	667
引当金	155	162
その他	3,331	2,198
流動負債合計	15,097	13,968
固定負債		
長期借入金	562	584
退職給付引当金	4,367	4,494
引当金	11	—
資産除去債務	211	213
その他	3,270	3,228
固定負債合計	8,423	8,521
負債合計	23,521	22,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,174	2,174
利益剰余金	9,536	9,768
自己株式	△59	△59
株主資本合計	18,325	18,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	272	305
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	2,287	2,283
為替換算調整勘定	62	155
その他の包括利益累計額合計	2,622	2,743
少数株主持分	57	81
純資産合計	21,005	21,381
負債純資産合計	44,526	43,870

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	20,117	19,091
売上原価	12,746	13,025
売上総利益	7,371	6,065
販売費及び一般管理費	4,302	4,609
営業利益	3,068	1,456
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	21	20
固定資産賃貸料	79	117
為替差益	7	46
その他	23	28
営業外収益合計	132	214
営業外費用		
支払利息	98	47
固定資産賃貸費用	51	80
その他	117	42
営業外費用合計	268	170
経常利益	2,933	1,501
特別利益		
固定資産売却益	10	3
投資有価証券清算益	—	31
その他	1	—
特別利益合計	11	35
特別損失		
固定資産処分損	112	35
減損損失	255	124
その他	10	7
特別損失合計	378	167
税金等調整前四半期純利益	2,566	1,369
法人税、住民税及び事業税	1,139	549
法人税等調整額	△330	△6
法人税等合計	808	542
少数株主損益調整前四半期純利益	1,757	827
少数株主利益	4	16
四半期純利益	1,753	811

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,757	827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	32
繰延ヘッジ損益	△3	△0
為替換算調整勘定	15	100
その他の包括利益合計	△75	133
四半期包括利益	1,682	960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,677	936
少数株主に係る四半期包括利益	5	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,566	1,369
減価償却費	676	807
のれん償却額	3	12
減損損失	255	124
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	4
退職給付引当金の増減額(△は減少)	115	126
受取利息及び受取配当金	△22	△22
支払利息	98	47
為替差損益(△は益)	6	△5
投資有価証券評価損益(△は益)	10	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	—
投資有価証券清算損益(△は益)	—	△31
固定資産売却損益(△は益)	△10	△3
固定資産処分損益(△は益)	112	35
売上債権の増減額(△は増加)	△2,298	1,947
たな卸資産の増減額(△は増加)	131	△1,171
仕入債務の増減額(△は減少)	248	583
その他	522	△374
小計	2,416	3,451
利息及び配当金の受取額	22	22
利息の支払額	△101	△51
法人税等の支払額	△877	△1,492
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,460	1,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△395	△1,459
有形及び無形固定資産の売却による収入	69	24
有形固定資産の除却による支出	△18	△11
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	20	—
清算配当による収入	—	46
関係会社株式の取得による支出	△20	—
吸収分割による支出	—	△749
その他	△1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△350	△2,153
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△897	558
長期借入れによる収入	100	200
長期借入金の返済による支出	△589	△448
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△403	△576
リース債務の返済による支出	△36	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,827	△306
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△728	△505
現金及び現金同等物の期首残高	3,214	3,074
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,486	2,569

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	繊維事業	研磨材 事業	化学 工業品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,498	6,785	3,371	17,655	2,461	20,117	—	20,117
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	3	—	6	3	10	△10	—
計	7,500	6,789	3,371	17,661	2,465	20,127	△10	20,117
セグメント利益	110	2,693	225	3,029	38	3,068	△0	3,068

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業、電子機器事業及び精製事業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれている。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

その他の事業において、当該部門の業績低迷のため減損損失を認識した。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては164百万円である。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	繊維事業	研磨材 事業	化学 工業品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,902	5,087	4,008	16,998	2,092	19,091	—	19,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	4	—	6	0	6	△6	—
計	7,904	5,092	4,008	17,004	2,093	19,098	△6	19,091
セグメント利益	4	1,243	188	1,437	19	1,456	△0	1,456

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業、電子機器事業及び精製事業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれている。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産のうち、保有会社における利用計画がなく時価も下落している固定資産について減損損失を認識した。

なお、当該減損損失の計上は、当第2四半期連結累計期間においては124百万円である。